

食育の担い手の役割

食育を推進するため、多様な主体が協働し支え合うことで、課題に対応することができる食育のネットワークづくりを進めます。



計画の目標指標

それぞれの分野で目標指標を掲げ、食育の取組を推進していきます。主な目標指標は次の通りです。

え 笑顔で食べよう！

項目	現状値 (平成25年度)	目標値 (平成30年度)
1. 食育という言葉を知っている人の増加	88.5%	95.0%
2. 食育に関心がある人の増加	56.8%	70.5%
3. 共食という言葉を知っている人の増加	46.0%	増やす
4. 家族が揃って食事を食べる日(週4日以上)の増加	(朝食)46.6% (夕食)67.9%	(朝食)56.4% (夕食)71.6%

た 正しく食べよう！

項目	現状値 (平成25年度)	目標値 (平成30年度)
1. 毎食野菜を食べている人の増加	24.6%	60.0%
2. 食事バランスガイドなどを参考にしている人の増加	53.6%	60.0%
3. うす味を心がけている人の増加	54.9% (平成24年度)	70.0%
4. 食事を20分以上かけてゆっくりよく噛んで食べている人の増加	50.7%	70.0%
5. 20分以上の運動を定期的に行っている人の増加	36.9%	増やす

じ 地元のいいもの再確認！

項目	現状値 (平成25年度)	目標値 (平成30年度)
1. 地産地消を実践している人の増加	42.4%	60.0%
2. 地元の新鮮な農水産物を買う、食べることができると感じる人の増加	36.5%	50.0%
3. 学校給食に地元の農水産物を使用していることを知っている人の増加	67.1%	増やす

ま 町の食文化を見直そう！

項目	現状値 (平成25年度)	目標値 (平成30年度)
1. 伝承料理を A 食べたことがある人 B 作ったことがある人の増加	①大豆うどん A 67.6% B 15.2%	増やす
	②もぶり飯 A 39.3% B 19.2%	
	③いりこみそ A 62.1% B 13.9%	
	④きゅうちゃん漬け A 45.2% B 12.8%	
	⑤押しずし A 40.3% B 12.1%	
	⑥煮ごめ A 36.4% B 21.8%	
2. 江田島市に有名な伝承料理があると 感じる人の増加	32.8%	50.0%

し 食の魅力体験しよう！

項目	現状値 (平成25年度)	目標値 (平成30年度)
1. 食育に関する事業に参加したことがある人の増加 ①幼児・小学生の保護者 ②中学生・高校生 ③一般市民	① 62.2% ② 42.8% ③ 20.1%	増やす

江田島市食育推進計画

概要版（平成26年度～30年度）

笑顔で食べよう！ 江田島の恵み
～食を知り、感じ、育む。人と人をつなぐ食育の輪～



えがおで
楽しく
食べよう！

5つの食育目標

しょくの
魅力を
体験しよう！

ただしく
食べよう！

じもとの
いいもの
再確認！

まの
食文化を
見直そう！

食育目標①

え

笑顔で楽しく食べよう！ 食育・共食の普及

- 【現状】
- ・食育という言葉を知っている人は多いが、食育の関心は低い。
 - ・家族が揃って食事をするのが重要だと意識しているが、実践されていない。

みんなで取り組むこと

- ① 地域の食を通じたイベントなどに参加しよう。
- ② 食に関心を持ち、食に関する知識を深めよう。
- ③ 家族揃って、楽しく食事をする時間を増やそう。
- ④ 食材や料理を作ってくれた人たちや自然の恵みに感謝し、食事のあいさつをしよう。
- ⑤ 食事の準備や調理、片づけをする機会をもとう。
- ⑥ 食事に関するいろいろなマナーを身につけよう。



江田島市が目指すもの

本市は、新鮮な魚介類や野菜、果物などの特産物が豊富な恵み多い島です。また、採れたものを近所に「おすそわけ」をしたり、地域に伝わる伝承料理を、みんなで一緒に作って食べたりと、人と人のつながりが残るあたたかなところですよ。

これら江田島の「食」を活かして、食育への関心を高め、健全な食生活を実践していくことが、一人ひとりや家族、地域全体が、いつまでも元気に笑顔で暮らせることにつながると考えます。

本計画では、「食」や「食に関する体験」を通して、本市の食に対する課題と向き合いながら、市民、地域、各種団体などと行政が手を携え、互いに協力し、協働して食育を推進し、一人ひとりがいきいきと暮らすことのできるまちを目指します。

テーマ

笑顔で食べよう！ 江田島の恵み

食を知り、感じ、育む
人と人をつなぐ食育の輪



江田島市食育キャラクター

食育目標⑤

し

食の魅力体験しよう！ 食育に関する体験学習

- 【現状】
- ・食育に関する事業に参加したことがある人は少ない。
 - ・食育に関する事業に参加した人は、食育への関心が高く、地産地消を実践している人が多い。

みんなで取り組むこと

- ① 農漁業体験や料理教室など、食に関わる体験に参加しよう。
- ② 地域の食を通じた活動に積極的に参加しよう。
- ③ 家庭でも農作物の栽培・収穫などをおこない、自然と触れ合う機会を作ろう。

食育目標②

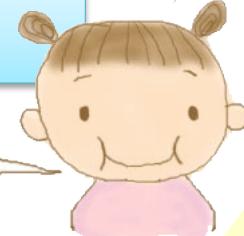
た

正しく食べよう！ 健康のための食育の推進

- 【現状】
- ・栄養バランスのよい食事ができていない。
 - ・平均寿命が、男性は県内23市町中19位、女性は県内最下位。
 - ・歯と口腔の健康に対する意識が低い。

みんなで取り組むこと

- ① 早寝・早起きを心がけ、正しい生活リズムを身につけよう。
- ② 望ましい食事量や運動で、体重管理をしよう。
- ③ 1日3回規則正しく食べよう。
- ④ 主食、主菜、副菜を揃え、栄養バランスを考えよう。
- ⑤ 料理の味付けは薄味を心がけよう。
- ⑥ 食べ物をしっかりと噛む習慣を身につけよう。
- ⑦ 健康づくりなどに参加し、正しい知識を習得しよう。
- ⑧ 定期的に健康診査や歯科検診を受診しよう。



食育目標③

じ

地元のいいもの再確認！ 地産地消の推進

- 【現状】
- ・地元の特産物が知られていない。
 - ・地産地消の実践ができていない。

みんなで取り組むこと

- ① 安全で新鮮な地元農水産物の旬の食材を食べよう。
- ② 地元農水産物や旬の食材の良さを子どもたちに伝えよう。
- ③ 食の安全について関心をもち、食品の表示や食品の見分け方を学ぼう。

食育目標④

ま

町の食文化を見直そう！ 食文化の継承

- 【現状】
- ・伝承料理を作ったことがある人が少ない。
 - ・伝承料理を次世代に伝えたいと考えている人が少ない。

みんなで取り組むこと

- ① 家庭やふるさとの味を、子どもたちに伝えよう。
- ② 行事食や伝承料理を、家庭の食事に取り入れよう。
- ③ 日本の食文化や外国の食文化を理解し深めよう。
- ④ 食を通じた交流や行事を大事にし、積極的に参加しよう。

